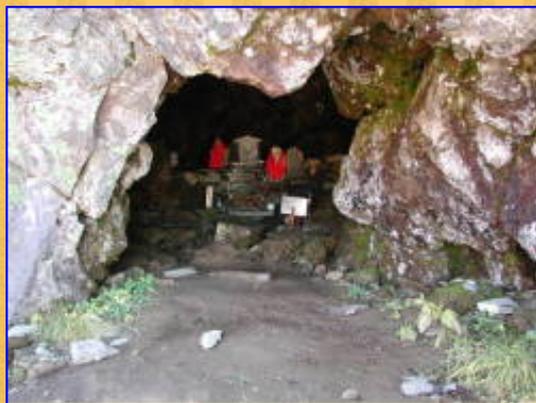


# 立山・大日岳 紅葉三昧

秋山情報 5号 10 / 6

ようやく、本格的な紅葉を見るチャンスに恵まれました。  
今日は、確実に晴れると思ったが予想以上に回復が遅く、結局ケーブルは8:20発に乗車した。  
さすが、この季節は、超満員、朝から40分待ちであった。  
・・・しかし、登り始めると、最高の天気になった。バスから見える景色は、紅葉のオンパレード・・・  
弘法から弥陀ヶ原までが、現在紅葉の見頃です。  
・・・他は、もう盛りを過ぎています。  
・・・大日岳を縦走して、大日平までのコースは、紅葉が最高でした。・・・その景観に感動しました。  
立山駅 8:20 - 室堂 9:40 - 雷鳥沢 11:30 - 室堂乗越 12:00 - 奥大日岳 13:00 - 中大日岳 13:40 - 大日岳山  
荘 14:00 - 大日平小屋 15:10 - 称名滝 16:10

行者の岩屋・・・昔、修験者が修行した岩屋。室堂小屋から登山道があります。  
ここから、雷鳥沢の水源地に入ります。ここから沢に降りるのは、あまり難しくありません。



雷鳥沢へ降りる途中に、紅葉がありました。

室堂の紅葉はもう終わりましたが、多分、沢は、雪渓が遅くまで残ったため今まで紅葉が残ったのだと思います。



先日、秋山情報4号で紹介したポイントです。今が、ちょうど見頃でした。



室堂乗越から、ようやく剣岳が見えました。・・・今年も、何度か大日岳を訪れているのですが、時間帯が午後になるため、ガスってしまい、はっきりと見ることはできませんでしたので、感動もひとしお。



剣岳の雄姿、このようなダイナミックな剣岳を、正面から見るのは、久しぶりです。

特に奥大日岳は、この方向から見る剣岳としては、最高のポイントです。

ちょうど、直角三角形の形に似た、荒々しい岩肌は、圧巻です。・・・こちらの壁は、唯一登るルートがありません。

東大谷の岸壁がそれを物語っています。



剣岳の雄姿 奥大日岳・中大日岳稜線にて



このルート上、唯一の難所、中大日岳への登りから、「立山を望む」・・・ソウメン滝などが見えます。  
右は、標識が新しい中大日岳・・・2500mピッタリというのも、ちょっと珍しいのではないかな。



見事な紅葉に囲まれた大日岳から大日平まで登山道。  
五色のじゅうたんのような紅葉に包まれて、歩くとつい時間も忘れてしまう。  
今回撮影した写真は、200枚以上、フィルムが〔おっと、デジタルカメラだった〕残り少なくなった。



## 紅葉アラカルト



## 今日の出会い

